

水道料金説明会資料

☆早急な施設更新が必要☆

1 水道事業の現状と課題

① 水道施設～老朽化

- 旭町浄水場 (昭和42年建設)
- 清水沢浄水場 (昭和44年建設)
- ・老朽化→故障多発→常に断水のおそれ
- ・古すぎて部品在庫が無く復旧遅れる
- ・予測できない突発事故が起こりやすい

② 炭鉱閉山～人口激減

- ⇒昭和35年 11万6千人
- 昭和44年 7万2千人
- 平成23年 1万1千人
- ・人口減少による料金収入の大幅減少
- ・計画的な施設更新費が不足
- ・単独費用による緊急修理費が不足

③ 施設規模～過大

- ⇒炭鉱閉山による施設の引継ぎ
- ・42,500人分の過大な施設規模
- ・非効率な運転管理

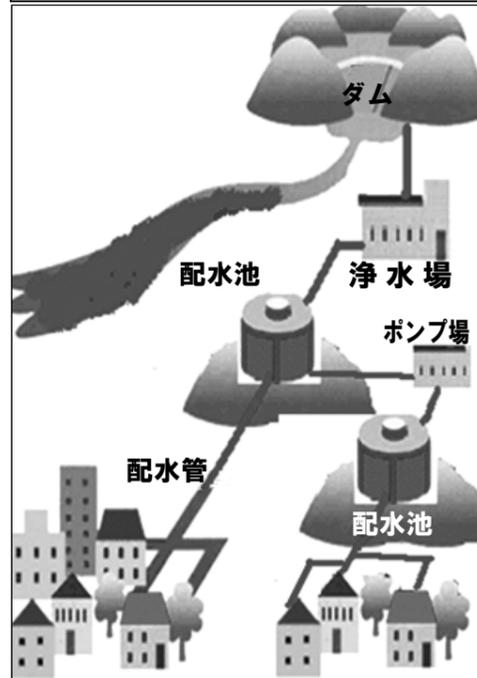
このまま放置すると…

- ・市街地での慢性的な漏水・濁水が発生
- ・日常的に断水リスクが高まる
- ・地震等の災害による大規模断水のおそれ

**水道水が安定供給
できないおそれ**

☆新たな事業計画の策定☆

2 夕張市上水道第8期拡張事業計画 (当初計画)



- 事業目的
水道水の安全・安定した供給
→効率的な施設の改築更新をする。
- 主な事業
・浄水場の更新 (旭町・清水沢の2カ所)
・配水池・ポンプ場の更新
・老朽配水管の更新
・浄水場の維持管理等
- 事業期間 20年間 (H24～H43)
- 事業費 約69億円



☆事業費の削減に向けて☆

3 計画の見直しを実施

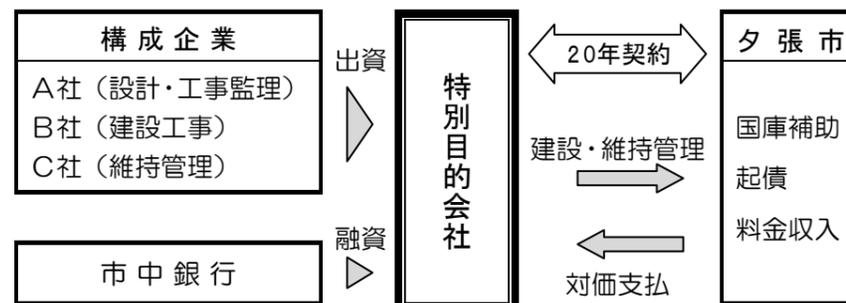
	(当初計画)		(見直し後)	
総事業費	69億	⇒	52億	(削減額 $\Delta 17$ 億)
PFI	53億	⇒	49億 (見込)	$\Delta 4$ 億 (PFI効果)
直営	16億	⇒	3億	$\Delta 13$ 億 (※)

※事業内容の精査

- ・配水池・ポンプ場の更新
 - ・老朽配水管の計画的な更新
- ⇒ 可能な限り更新期間を長期化し修繕により延命化を図る。

(参考) PFI方式のしくみ

民間資金とノウハウの活用により事業費を圧縮し効率的な事業運営



☆水道料金値上げの検討☆

4 経常収支と水道料金

◆総事業費 52 億円で実施
平成24年度から平成43年度までの収支

○現行料金で実施した場合
収入累計 117 億円ー支出累計 129 億円
差引額 $\Delta 12$ 億円 (不足)

【不足額への対応】

○一般会計からの繰り入れの増
水道事業会計の負担を軽減するため、一般会計から18年間 (H26～43) の繰り入れ。

○一般会計 ⇒ 水道会計 (繰り入れ 6億)

収入累計 123 億円ー支出累計 129 億円
差引 (繰入後) 額 $\Delta 6$ 億円 (不足)

【水道料金値上げの検討】

○水道料金値上げにより収支の均衡を図る
値上げによる収入 6 億円の増
収入累計 129 億円ー支出累計 129 億円

○実施時期及び改定率 (2案)

・実施時期

①案 ～ 事業開始時に実施
平成24年度から10%料金値上げ

②案 ～ 施設完成時に実施
平成28年度から14%料金値上げ

・改定率の比較表

※現行は平成元年度に改正 (消費税率改正除く)

	値上時期	水道料金	値上額	値上率	全道順位	備考
-	現行料金	2,688円	0	0%	27位	赤字発生
①	H24	2,956円	+268円	10%	11位	事業開始時
②	H28	3,064円	+376円	14%	5位	施設完成時

※家庭用・月額・10㎡・メータ口径13ミリ

・市民の皆さんのご意見 (アンケート)
・施設見学会 (旭町・清水沢浄水場)
(注) 今回は、水道料金のみ値上げです。下水道料金は値上げしません。